

保護者等向け

放課後等デイサービス評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	20	1	1		
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	19	2	1		
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	19	2	1		
適切な支援の提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、 <u>放課後等デイサービス計画*1</u> が作成されているか	19	2	1		
	5	<u>活動プログラム*2</u> が固定化しないよう工夫されているか	20	1	1	外出イベントをもっと取り入れてほしい。	活動がマンネリ化しないよう検討していきます。
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	12	3	7		
保護者への説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	18	2	2		
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	20	1	1		
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	12	2	2	いつも面談して頂きありがとうございますと御座います。	今後ともよろしくお願いたします。
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	20	1	1	Learning内の交流会や機会はない。	法人でTUDOIカフェをオープンしており、保護者様の交流の場をご用意しております。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	16	4	2		
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	17	3	2		
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	20	1	1		

	14	個人情報に十分注意しているか	20	1	1		
常時等の対	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	20	1	1	マニュアルについてあまり説明がないです。	今後説明してまいります。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	16	5	1		
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	20	1	1	「もっとLearningを増や	今後ともよろしく願いいたします。
	18	事業所の支援に満足しているか	20	1	1	子供のことを見守って頂きありがとうございます。	今後ともよろしく願いいたします。

\*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

事業所名		こころLearning				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		基準人員以上に配置している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○	階段に手すりを設置している。トイレは一目でわかるよう、イラストカードを男子トイレ女子トイレそれぞれに貼っている。	階段には手すりはあるものの、スロープがないため車椅子の方の利用が難しい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		クールダウンの為の小部屋が一堂ある。また、複数名分の個室が必要な場合については、職員の許可のもと事務所内を使用できるように環境が整っている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		毎日当日の予定を確認するミーティングと、前日の振り返りのミーティングを行っている。また、月に一度店舗会議を開いており、業務改善に努めている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎年度保護者に評価表を取っており、管理者より現場職員に要望を落とし込んでいる。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		日々のミーティングの中で、スタッフごとに支援に疑問を感じた場合や行き詰っている場合に意見を言う機会がある。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		年間スケジュールに沿って月に一度研修を行っている。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		一か月の支援スケジュールを手紙にして前月に保護者に配布している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		6か月に一度以上保護者と面談を行い、その要望に沿って計画書を作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		6か月に一度モニタリングのタイミングで職員全体に様子を確認して作成している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		面談後、職員ミーティングにおいて、保護者の要望を伝えている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		年に一度アセスメントを取りAIを利用してアセスメントの診断書を作成している。AIと日々の行動観察により計画書を作成している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		○		地域連携や移行支援について、外部の資源との連携が現状取れていない。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		職員の報告や管理者から保護者のニーズを聞き取って、リーダーが作成している。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。		○		長期休暇中においては一日に2つ活動を行っていることもあり、昨年度に似たものを多く使っていることがある。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		各領域の苦手分野に応じて個別支援を行う他、集団行動として、チームで行動する場面を設けている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		一日の支援開始前に職員ミーティングを毎日行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		○		送迎から戻ってくる時間が遅いため、翌日に振り返りのミーティングを行っている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		毎日その日の行動の様子を活動記録に残している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		6か月に一度以上モニタリング表の作成及び保護者面談を行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		子どもの興味のある教材を使用してやる気を出す工夫をしつつも、本人の気分や体調を踏まえて活動参加は自由としている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		管理者が担当者会議や事業所連絡会に参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		○		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		引き渡しの際に連絡する、あるいは電話にて連絡を取っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		○		自社グループについては連携を行えているが、他社の地域資源との連携が不十分である。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		○		事業所卒業後は障害福祉サービスを使用せずにクラブや自宅で過ごす等の選択を取る利用者が多いため。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○		他社児童発達支援との連携が不十分であるのが現状である。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		半年に一度以上の面談の他、普段と違う様子が見られた際は都度報告している。場合により、緊急で面談を開いている。		
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		グループとして、保護者と専門職員の情報共有の機会を月に一度設けている。		
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○				
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		意思表示ができる子が多いため、保護者から要望があった場合でも、職員から本人のニーズを確認している。		
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○				

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		場合により半年に1度以上の頻度で面談をしている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		月に一度保護者の交流会の機会を設けている。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		ラインにて日々の活動の様子を報告している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		必要に応じて絵カードを使用している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルを作成し、職員に周知している。	マニュアルは策定しているものの、保護者に細かく説明しながら周知できていないのが現状である。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		基準以上の月に一度避難訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		事務所にリストにして保管している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		各職員月に一度ヒヤリハットを提出してもらい、それに対する検討会議を行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○				